

製品名: Eg5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10331**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	119kDa

抗原情報

遺伝子名	KIF11
別名	KIF11; EG5; KNSL1; TRIP5; Kinesin-like protein KIF11; Kinesin-like protein 1; Kinesin-like spindle protein HKSP; Kinesin-related motor protein Eg5; Thyroid receptor-interacting protein 5; TR-interacting protein 5; TRIP-5
遺伝子 ID	3832.0
SwissProt ID	P52732
免疫原	抗血清はヒト KIF11/Eg5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 892-941

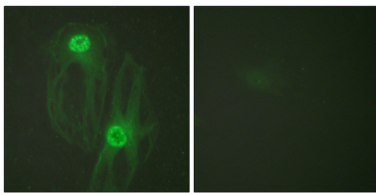
背景

キネシンファミリーメンバー 11 (KIF11) ホモサピエンスこの遺伝子は、キネシン様タンパク質ファミリーに属するモータータンパク質をコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、さまざまな種類の紡錘体のダイナミクスに関与することが知られています。この遺伝子産物の機能には、染色体の位置決め、中心体の分離、および細胞有糸分裂中の双極紡錘体の確立が含まれます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 双極紡錘体の確立に必要なモータータンパク質。KIF11 の阻害は、中心体の移動を防ぎ、単星状微小管アレイを持つ有糸分裂中の細胞を停止させます。PTM: S 期にはセリンのみがリン酸化されますが、有糸分裂中はセリンと Thr-926 の両方がリン酸化されるため、KIF11 と紡錘体装置の結合を制御します (おそらく前期初期)。DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR によるものと考えられる。類似性: キネシン様タンパク質ファミリーに属する。BimC サブファミリー。類似性: 1 つのキネシンモータードメインを含む。サブユニット: 甲状腺ホルモン存在下で甲状腺ホルモン受容体と相互作用する。少なくとも MYSM1、PCAF、RBM10、KIF11/TRIP5 からなる大規模なクロマチンリモデリング複合体の構成要素。

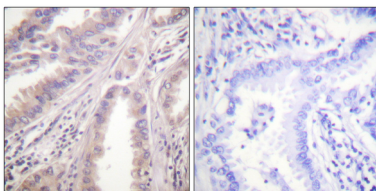
研究分野

シグナル伝達

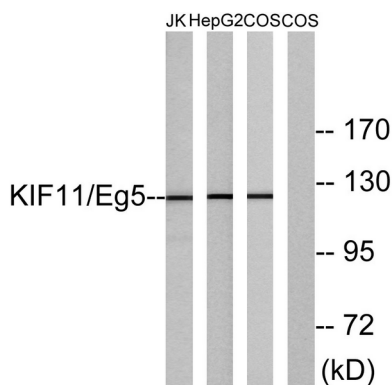
画像データ



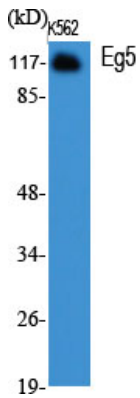
KIF11/Eg5 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



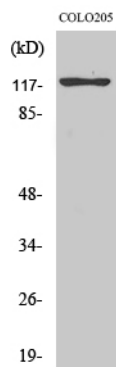
KIF11/Eg5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像。



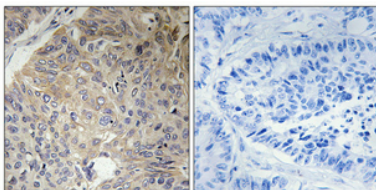
KIF11/Eg5 抗体を用いた Jurkat 細胞、HepG2 細胞、COS 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



Eg5 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン ブロット分析。



Eg5 ポリクローナル抗体を使用した COLO205 細胞のウエスタン ブロット分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。